

⑦【さまざまな人権】

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-01	【ホームレス問題】 人権ってなあに ㊟ (野宿生活者篇) 「温もりある社会を」 ～野宿生活者ととともに～	40分	H16	野宿生活者の現状や前向きに生きようとする姿、彼らを支える市民の活動や行政の取り組みから温もりある地域社会のあり方を探る。
他-02	【アイヌ民族問題】 「共生への道」 ～日本の先住民族・アイヌ～	30分	H5	日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や文化、現在どのような状況におかれているのかを明らかにし、同じ国に住むアイヌ民族への理解を深め、お互いに力を合わせて豊かで幸せな社会を作っていくための手がかりになるようにと編集された啓発ビデオです。
他-03	【HIV/エイズ問題】 人権ってなあに ㊨ (AIDS篇) 「風よ雲よ伝えてよ」 ～HIV/AIDSと共に生きる～	38分	H14	AIDSの正しい知識、その普及や啓発を通して根深い差別と闘い、感染者と共に歩むHIVと人権・情報センターと若者たち。ビデオはそんな人たちの思いや活動を紹介し、HIV/AIDSと共に生きる社会について考えていきます。
他-04	【その他 ～アサーティブネス～】 「愛ある子ども」の育て方シリーズ ㊩ じょうずな叱り方	20分	H7	意図の通じない叱り方はだめ。どんな場合にどのように叱るか。叱ったあとをどのように見守るか。実際例を生き生きと示して、叱り方の大事なポイントを解説する。
他-05	【いじめ問題】 「しらんぷり」	21分	H11	「しらんぷり」をするということは、「いじめ」に参加しているということ。クラスメイトのドンちゃんがいじめにあっていのに、ぼくはなにもしないで、見ているだけ。これでいいんだろうか…。少年の心の葛藤と行動を描く。
他-09	【戦争・平和】 「一分のすきもなく武装して」 ～世界にはびこる小型武器の現状～ ABMED TO TEETH	28分	H12	世界にはびこる小型武器の現状を紹介。未だ小型武器の取引が不正に行われ、子どもたちにも容易に手に入れることのできる現状にあり、世界平和のためにこれからどうしていくべきか…。

記号	タイトル	時間	製作年	概要	要
他-14	【戦争・平和】 戦争の傷あと (legacies of war)	31分	H12	戦争の後の深く大きな傷あとは、何の関係もない一般市民に残ります。残された爆弾、地雷、社会崩壊、心の傷…。このビデオは、戦争の傷跡から立ち直ろうとする市民たちのドキュメンタリーです。	
他-15	【戦争・平和】 「地雷を踏んだ象」 [モータラの物語]	41分	H13	タイの人々にとっては”神の使い”である象のモータラが地雷を踏んでしまった。「もう一度自由に森のなかを歩けるようにしてあげたい」と願う人々とモータラのものごとがたり。	
他-16	【戦争・平和】 【アニメ】火の雨がふる	80分	S63	福岡空襲の記録集「火の雨が降った」をベースに、平和の尊さを伝えるために製作されました。きめこまやかなアニメーション映像が、心に大きな感動を与えてくれることでしょう。	
他-17	【戦争・平和】 【アニメ】はだしのゲン	90分	S58	1945年8月6日の原爆投下で家族を失ったゲンは母と一緒にほかの家族の分まで生きることを誓う。悲しみに負けることなく、力強く生きるゲンの姿を通して平和の尊さを訴える。	
他-18	【戦争・平和】 【アニメ】はだしのゲン 2	90分	H11	1945年8月6日の原爆投下で家族を失ったゲンは母と一緒にほかの家族の分まで生きることを誓う。悲しみに負けることなく、力強く生きるゲンの姿を通して平和の尊さを訴える。	
他-19	【戦争・平和】 【アニメ】さようなら カバくん	25分	H11	空襲のさなか、絶食させられた2頭のカバたち。平和への熱いメッセージを込めた作品。	
他-20	【戦争・平和】 【アニメ】夏服の少女たち ～ヒロシマ・昭和20年8月6日～	45分	H2	学徒動員の作業中、被爆した広島第一高女の生徒たちが残した日記をもとに、少女たちのつかの間の青春を描き、残された親たちの想いを追う。	

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-21	【戦争・平和】 「戦争」～子どもたちの遺言～	53分	H9	過去の戦争、特に空襲による破壊と死を振り返りながら、皆殺し戦争を告発し、今日の核狂乱の時代を警鐘する映画である。
他-22	【戦争・平和】 「にんげんをかえせ」	20分	S57	10feet映画運動により編集された原爆記録の映画。長い間「幻のフィルム」とされていた原爆の記録をアメリカ合衆国から入手し、それに合わせて各所で取材、ロケした現在のフィルムを元にして制作した貴重な記録映画である。
他-23	【戦争・平和】 【アニメ】火垂るの墓	88分	S63	戦争のため両親と死別した14歳と4歳の兄妹が、親戚からも疎まれ、2人だけの生活をスタートさせるが、世間は冷たく、とうとう2人とも死を迎えることになる。あらためて戦争の悲惨さや非人間性を問いかけている。
他-24	【戦争・平和】 日高六郎が語る体験的〈戦争と平和〉論	88分	H17	平和主義者・日高六郎氏が自身の生涯の体験談を語る。
他-31	【戦争・平和】 【アニメ】おばけ煙突のうた	42分	H5	4本の巨大な「おばけ煙突」を通して描く、少年たちの大きな夢と熱い友情。早乙女勝元が少年少女たちに贈る、平和への熱いメッセージ！
他-10	【拉致問題】 「拉致」～許されざる行為～ 北朝鮮による日本人拉致の悲劇	20分	H19	拉致問題の解決に向けた日本政府の取り組みや、拉致被害者家族会の活動などを紹介し、拉致被害者の早期帰国実現を訴えた作品。
他-11	【拉致問題】 【アニメ】「めぐみ」 北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ	25分	H19	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-12	【環境問題】 「いのちの食べ方」	92分	H17	私たちの生とは切り離せない「食物」を産み出している現場を描いたドキュメンタリーです。世界中の人々の食を担うために大規模な機械化によって生産管理せざるを得ない実状を紹介しています。 【ガイドブック有】
他-13	【環境問題】 【アニメ】MOTTAINAI もったいない	22分	H19	分ければ資源、棄てればゴミ。あなたならどうしますか？ 一人一人の「もったいない」の心が世界中に大きな輪を広げます。不思議な生きものゴーミンと、森の動物たちとの物語です。
他-26	【ハンセン病と人権】 ドキュメンタリー映画 「風の舞」 ～闇を拓く光の詩～	60分	H15	この映画は、12歳でハンセン病を発病し、瀬戸内海の小島に隔離された詩人塔和子さんの詩をモチーフに、真摯に今を生きている元患者の慟哭の思いと、ハンセン病強制隔離の「歴史と今」を見て行くものです。
他-27	【ハンセン病と人権】 「ハンセン病を知っていますか」 ～現代医学で制圧された病気～	22分	H13	ハンセン病の古い歴史から、現代医学で治る病気となるまでの経緯を紹介。ハンセン病の元患者さんの姿を通して、ハンセン病問題を克服する方法を提案します。
他-29	【ハンセン病と人権】 【アニメ】未来の虹 ～ぼくのおじさんは、ハンセン病～	30分	H17	この作品は、ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルとして書かれた「ぼくの伯父さんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー」をもとに、作られたものです。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。
他-28	【犯罪被害者の人権】 「犯罪被害者の人権を守るために」	33分	H15	犯罪が起きると、その後は犯罪者と国の問題とされ、犯罪被害者は蚊帳の外に置かれてしまうことが多い。しかし犯罪被害者たちが直面する問題は精神的、経済的なものなど多岐にわたり、時間の経過とともに変わっていく。そして、多くの犯罪被害者やその家族が支援を求めているにもかかわらず、実際に声を挙げられる人は限られている。犯罪被害者の現状を知り、犯罪被害者やその家族の人権について、身近な問題として考えていただきたい。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-25	<p>【パワー・ハラスメント】 「パワー・ハラスメントと人権」 ～見直そう、職場と家庭の人間関係～</p> <p>【学習の手引 有】</p>	43分	H20	<p>経済構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場。人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求める。本作は、職場において行われる精神的な暴力であるパワハラを家庭との関係やその影響も含めて、被害者と加害者双方の視点から描いた研修用ビデオです。</p>
他-30	<p>【インターネットと人権】</p> <p>現代社会と人権シリーズ</p> <p>「インターネットと人権」</p>	22分	H22	<p>インターネットは便利な存在だが、使い方を誤ったり悪意がなくても、人を傷つける「凶器」になりえる。財団法人インターネット協会では受け付けている相談の中には、在日コリアンの人々に対する差別的な書き込みや、障害者、部落差別についての深刻な人権侵害事例などがある。</p> <p>このビデオでは、こうした人権侵害のそれぞれの当事者に、状況や思いなどを語っていただく。こうした人権侵害は、弱者だけではなくごく普通に生活している人びとに対しても起こることもある。ネット被害を防ぐために私たちがどう考えるべきか、問題提起していく。</p>
他-33	<p>【戦争・平和】</p> <p>ながさきの子うま</p>	27分	H22	<p>日本がまだ戦争をしていた昭和20年の夏。広島に原子爆弾が落とされ、たくさんの人々が亡くなった三日後の8月9日長崎、再び原子爆弾が人間の頭上に落とされました。犠牲になったのは人間ばかりではなく、たくさんの動物達もまた犠牲になりました。この作品は、大川悦生・著「ながさきの子うま」をもとに制作された平和人形アニメーションです。かわいい子馬を主人公に、他の動物たちのユニークなキャラクターも加わり、優しく平和と生命の尊さを伝え、幼い子どもだけでなく大人たちにも送る作品です。</p>
他-34	<p>【戦争・平和】</p> <p>ボクとガク</p>	42分	H21	<p>弁当を万引きするところを見たことがきっかけで仲良くなった岳（ガク）と希望（のぞむ・ボク）。近所のおばあさんと知り合い、色々な話を聞く。けんかしたときの仲直りの魔法について、昭和20年の八幡大空襲で兄を亡くしたこと、平和であることの大切さ、大切に育てた息子との別れ、・・・など。ある日おばあさんが倒れるが、二人が救急車を呼んで助けることが出来た。見舞いに行った二人の親たちも、おばあさんから話を聞き、子どもは、親が望むように育ててはいけないことを知る。そして、希望の父（スーパー経営）は人と人とのつながりによる街づくり（商店街の活性化）に向けた活動を始める。</p>

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-35 ①②	性的マイノリティと人権 あなたが あなたらしく 生きるために 【活用の手引き 有】	30分	H26	性的マイノリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず、相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。
他-36 ①②	人権アーカイブシリーズ ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～ 【活用の手引き付き】 【証言集付き】	76分	H27	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業などの人権教育・啓発に携わる職員などが身に着けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質などについて、関係者の貴重な証言や解説などを中心にわかりやすく、簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。 (1) 「ハンセン病問題」(56分) …人権教育・啓発担当者向け (2) 「家族で考えるハンセン病」(20分) …一般向け
他-37 ①②	The Wall 太陽は輝いたか？ (ハンセン病啓発ビデオ) ※①はブルーレイ	16分	H24	熊本県にある国立療養所菊池恵楓園の映像とともに、ハンセン病に関する歴史を分かりやすく伝えています。元患者の方の証言をもとに、今も続く差別の現実について私たちにできることは何かを問いかけています。
他-38	ほんとの空	36分	H24	多くの人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。その一方で、自分に関わりがない出来事は他人事のように感じたり、気づかずに他者を排除したり傷つけることもあります。このドラマでは、主人公(弓枝)が、息子(輝)の友だちを思う純粋な気持ちや、他国から越してきた隣人との関わりを通して、自分の誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちをわかろうとすることの大切さを描いています。
他-39	いわたくんちのおばあちゃん	20分	H11	この作品は、昭和20年8月広島原爆にまつわる実話を基にした絵本「いわたくんちのおばあちゃん」をアニメ化した、平和教育のためのビデオです。主人公、寛太は現代の小学生です。寛太は、友だちのおばあちゃんの話や、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をします。戦争は、人の命を奪う最悪の人権侵害です。戦争のない平和な社会であることの大切さを考えていきましょう。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-40	光射す空へ	32分	H27	同和対策審議会答申が出されて50年。その間様々な取組が行われ同和地区の生活環境は大きく改善されましたが、地区出身者や住民に対する差別は、形を変えて根強く残っています。その他にも、まだ十分に認識されていない人権課題としてLGBTの人たち、若年性認知症と診断された人たちに対する誤解や偏見もあります。この映画では、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちと一緒に、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えていける内容になっています。
他-41	インターネットと人権 加害者にも 被害者にもならないために	30分	H28	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし、一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることも少なくありません。本DVDは、「インターネットを悪用した人権侵害から守るために」「写真や動画をインターネット上に公開する時の注意点」「もしも誹謗中傷を受けたら」というテーマをドラマと解説でわかりやすくまとめています。
他-42	【戦争・平和】 ひろしまのピカ（借）	25分	S62	丸木 俊さん作 絵本「ひろしまのピカ」を 中山千夏さんと竹下景子さんが朗読したものです。
他-43	【戦争・平和】 ヒロシマに一番電車が走った（借）	32分	H17	戦地に召集された男たちに代わり、広島路面電車は10代の少女たちが運営していた。 15歳の春川弥生は、朝の車掌業務に就く際に被爆、最愛の母と大勢の仲間を失い悲嘆に暮れる。 しかし、被爆からわずか3日後、廃墟の中を弥生の乗った電車が警笛を高らかに鳴らして走り始めた。NHK広島放送局の被爆体験募集に寄せられた300通を超える手記をもとに、死と絶望の中で生き抜こうとする一人の少女の元気な姿をアニメーションで描く。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
他-44	【ジェンダー】 誰もがその人らしく	20分	H29	LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えない、見出しにくいのが現状です。しかし、この問題は、誰もが自分らしく生きていく上で、すべての人に関わりのある問題です。この作品は、自分の周りにいたけれど見えなかったLGBT（性的少数者）の人たちを特別な人と見ないで、人は性のグラデーションの中で色々な位置ににいるというように客観視することで、それまで見えなかったLGBTの人たち、その思いが見えてくるというストーリーです。 また、チャプターごとにドラマと振り返り解説が展開していく形で構成されています。
他-45	人権の教室 Voice	38分	H29	舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手掛かりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。（子どもの人権・パラリンピックと人権・北朝鮮による拉致問題）ボイス=声を出すこと、声を受けとることの大切さを伝えていきます。
他-46	【ジェンダー】 トランスジェンダーシリーズ ～未悠・彩・歩夢～	20分	H29	3人三様の本音トークとドキュメントで構成された作品で、我々の隣で普通に暮らすトランスジェンダーたちの真の姿とともに、それぞれの家族や友人たちの思いも描かれています。
他-47	【ハンセン病問題】 ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	34分	R3	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。〔活用のガイドブック付〕